



学校だより

めざす学校像<安心して過ごせる学校>『今日が楽しく、明日が待たれる学校』

鈴鹿市立加佐登小学校

電話 059-378-0063

FAX 共用 059-378-0006

校長 山中 喜宏

https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskasado/

加小っ子だより

令和5年9月21日 No.14

9月22日はキッズウィークのため学校閉校日となり、三連休となります。2学期が始まり3週間近くたち、子どもたちは少し疲れてきたころと思います。この機会に家族とのんびりと過ごして、こころもからだもお休みし、9月30日の運動会に向けてエネルギーをたくわえていただければと思います。

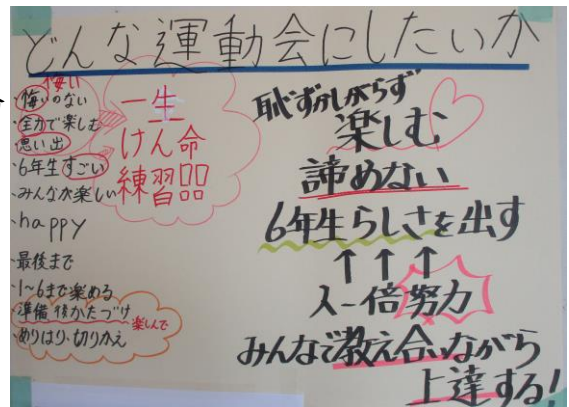


運動会の練習に取り組んでいます

9月30日の運動会に向けて各学年とも一生懸命練習に取り組んでいます。

子どもたちは体育の授業中だけでなく、休み時間にも動画を見ながら練習をしている姿が見られます。当日がとても楽しみです。

各学年の練習の様子を一部お知らせします。





音楽って楽しいなあ～

9月7日(木)に3年生竹組が、「すずか夢工房—達人に学ぶ—」から音楽療法士の方を講師としてお招きし、音楽の授業でからだや楽器を使って楽しく音楽を学びました。

講師の先生の説明を聞きながら、子どもたちは歌に合わせてからだを動かしたり、手拍子や打楽器を使ってリズムを刻んだりして音楽を楽しんでいました。

子どもたちは歌を歌いながら、体を動かしてリズムを取り、全身で音楽を体験していました。

事後の感想では、「楽器のいろいろな音が楽しかった。」「楽しくてあっという間に（授業が）終わった。」など楽しんで学び、かつ集中して授業に臨めたようです。

10月には3年生松組が同じ授業を受けます。楽しみですね。



個性を尊重するって？

9月8日に6年生が弁護士の方々を講師としてお招きし、「自立と他者を尊重する授業」を受けました。

授業では、「個性は大切だけど、みんなが個性を主張して、好き勝手すると混乱してしまう。どうしていいかい？」という問いかけがありました。

子どもたちは、自分なりに様々な意見を持っており、発表していました。弁護士の方からは、「相手の個性も自分の個性も大事にする」と回答があり、納得している様子でした。自分の考えも大事にしながら、相手の考えも聞き、お互いの考えを知り、対話を通じてお互いの考えを尊重しつつ、折り合いをつけていくことが大切であると教えていただきました。



授業後の子どもたちの感想の一部です

- 一人ひとりの個性を大事にして、いじめをしないこと。友だちと意見が違ったときは、話し合うことが大事だと思った。
- 個性は大事だけれど、自分の好き勝手にしていいわけではなく、他人の個性を尊重することが大事だとわかった。
- 何もわからないまま強く言うのではなく、どうしたのか「聞く」ことがわかった。個性を大事にして相手を尊重してあげることが大切。
- 相手の個性も自分の個性も大切にしたいということがわかりました。一人ひとり違う個性があるからこそいいんだ!!みんな違っていい!!っていうことに気が付きました。
- 自分の個性を大切にしながら、友だちの個性を尊重することが大切だと思いました。友だちを大切にすることを改めて大切だと思いました。「みんなちがってみんないい」は前にも教わったことがあるけど、おもしろいとえがたくさんあってすごく楽しかったです。

9月『加佐登小 人権の日』「ともだち」

画像の掲載を控えさせていただきます。
ご了承ください。

安心して過ごせる学校『今日が楽しく、明日が待たれる学校』を目指して、毎月10日を「人権の日」として、「お互いを尊重し、なかまも自分も大切に」日とし取り組んでいます。

9月は11日が人権の日でした。

「ともだち」という詩が紹介されています。6月にも「ともだち」という詩が紹介されましたが今回紹介されている「ともだち」はまた違う詩になります。

みんなの身近にいる「ともだち」はどんな人ですか？また、どんな「ともだち」になりたいですか？どんな「ともだち」といってところが落ち着きますか？

この詩を読んで、みんなにとっての「ともだち」ってどんな存在か考えてみましょう。

シーサーつくったよ～

4年生の図工の時間に外部講師をお招きして粘土でシーサーをつくりました。

講師先生の説明を聞きながら、輪郭をつくった後、口をつくり、目や鼻を各児童が思い思いの形にして取り付け、2時間かけて完成させました。この後、2週間乾燥させ、素焼き、本焼きをして完成となります。完成したらどんな形になるか楽しみですね。



ICT を活用した授業

加佐登小学校では、『どの子ども「分かる喜び」「学ぶ楽しさ」が味わえる算数科教育～ICT機器を用いた学び合いのある授業づくりを目指して～』を研修主題として、算数科を中心にICTを活用した授業について研修を行っています。

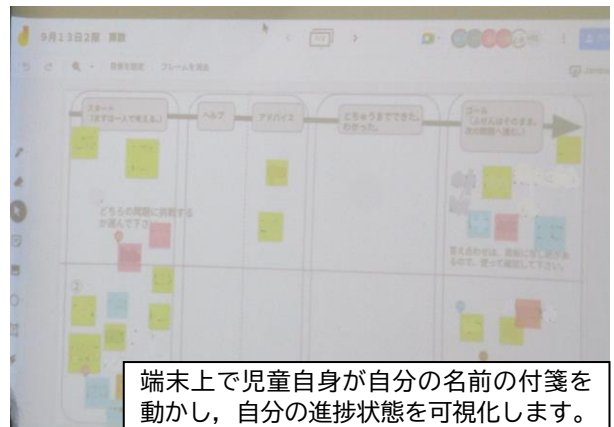
9月13日には6年生で算数の研究授業を行いました。

授業の中で、ICTを活用して児童一人ひとりの進み具合を可視化することで、児童たち本人も教員にも、児童が問題に取り組んでいるときの状況がよくわかります。

また、課題に取り組んでいるときには教えあう姿も見られ、本校の研究主題にある「学び合い」のある授業づくりに沿った授業が行われました。

さらに、教員もお互いの授業を参観する中で、参考にできる発問の仕方や取組を学び合っていました。

放課後には、事後研修会が行われ、各教員研究授業の振り返りなどを行う中で、「対話」を通じた「学び合い」となりました。



端末上で児童自身が自分の名前の付箋を動かす、自分の進捗状態を可視化します。

